



科目修了試験

- I 科目修了試験の受験申込み
- II 受験上の注意
- III 試験結果の通知

I 科目修了試験の受験申込み

科目修了試験は、履修科目の単位修得のための最終関門です。試験の申込みから受験への流れは p. 5 を、試験の実施予定は『試験・スクーリング情報ブック』をご覧ください。

1 受験の申込み

受験資格

科目修了試験は、次の3つの条件を満たしている方が受験できます。

- 1) 受験する科目のレポート課題をすべて提出していること（試験の2～3週間前に設定されている試験申込締切日（『試験・スクーリング情報ブック』参照）必着＝レポートの合格・不合格にかかわらず提出していれば受験資格があります）。
- 2) 試験の2～3週間前の試験申込締切日（『試験・スクーリング情報ブック』参照）までに申込みを行い、受験を許可されていること。
- 3) 受験する年度の学費を納入済みであること。

申込要領

科目修了試験を受験するには、機関誌『With』巻末の「科目修了試験申込みハガキ」に、①学籍番号、②氏名、③希望受験会場（都市名）、④受験希望科目、⑤科目コード（『レポート課題集』を参照してください）を記入し、⑥氏名バーコードを貼付してください。

ハガキ表面には、50円切手を貼付し、住所・氏名を記入してください。

なお、申込みに当たっては、申込科目と投函日を控えておいてください。

受験科目や会場の変更は、試験申込締切日までに書面で連絡をいただいた場合のみ可能です。

申込みをされた方には、大学側で受験資格を確認のうえ「科目修了試験受験許可証」をお送りいたします（試験5日前までに届かない方は通信教育部までご連絡ください）。

誤ってスクーリングと日時が重なる申込みをされ、両方の受講（受験）許可証が発行された場合は、各自の責任でいずれか一方を選択してください。

申込みハガキの記入の要領

2月科目修了試験申込みハガキ

学籍番号	09TY999
氏名	福祉 歩美 *09Y999*
以下のとおり、2月科目修了試験受験を申込みます。	
希望受験都市	仙台
受験希望科目(最大4科目)	科目コード(1科目)
1 健康科学	050 0 1 6
2 福祉法学	050 1 0 2
3 卒業試験	050 9 9 9
4	050
■ 1月科目修了試験結果不明科目があり、5科目以上申込みの場合	
⑤	050 ⑦ 050
⑥	050 ⑧ 050

学籍番号・氏名を記入し、氏名バーコードを貼付してください。

新入学直後などで氏名バーコードが届いていない場合は、バーコードなしでお申込みいただいても結構です。

卒業試験を申込みの方は、「050999 卒業試験」と記載し、2科目分のスペースをとって、お申込みください。

前回の科目修了試験の結果不明科目があり、やむをえず5科目以上申込み場合は、下記優先順位をふまえハガキの⑤～⑧の欄に記入してください。

受験できる科目は最大4科目で、合格済み科目などを除き、①→②→③→④→⑤→⑥→⑦→⑧の順で受験許可証を発行します。

4科目以内の場合は、①～④の欄に記入していただいで結構です。

申込み時の諸注意

- 1) 1回の試験で4科目まで受験の申込みができます。
- 2) これまでの科目修了試験に合格した科目、スクーリング試験に合格した科目は受験できません。
- 3) 同じ月(回)に実施される試験会場では、いずれか一会場のみで受験できます。
- 4) 卒業試験を申込みされる方は、2科目分の受験時間が必要です。よって、他の科目は2科目分しか受験できません。
- 5) オンデマンド・スクーリング試験を科目修了試験と同時に受ける場合も、試験科目数が制限されますので、ご注意ください。

受験対象外科目

「情報処理Ⅰ」は会場試験を実施いたしません。レポート合格者は次頁の指示に従い、メールでお申込みください。

「福祉ボランティア活動」は科目修了試験を実施いたしません。レポートのみで単位認定いたします。

「コミュニケーション英語」「スポーツ(バレーボール・バードゴルフ)」「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」「心理学研究法Ⅱ」「社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅱ」特講科目などのスクーリング必修科目や実習科目も科目修了試験は実施しません。

情報処理 1等の試験 申込み

「情報処理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の科目修了試験は、メールで送信された課題を自宅で期限までに解答する方法で実施しています。

「情報処理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」のレポートが2単位とも合格した方で、科目修了試験受験を希望する場合はレポートの送信先アドレスur@tsukyo.tfu.ac.jpに、学籍番号・氏名・科目名と科目修了試験を受験する旨記して、電子メールでお申込みください。

随時受け付けており、提出期限は試験メール送付後2週間程度で設定されています。

2 試験日程・会場

試験日

科目修了試験の実施予定は、『試験・スクーリング情報ブック』のとおりです。詳細は、機関誌『With』にてお知らせいたします。

時間割

標準的な時間割は下記のとおりですが、異なる場合もありますので機関誌『With』にてご確認ください。

日曜日実施会場 9時45分各会場集合

時間	科目
9:45~10:00	諸注意・説明
10:00~10:45	1科目め
10:45~11:30	2科目め
11:30~12:15	3科目め
12:15~13:00	4科目め

土曜日実施会場 13時30分各会場集合

時間	科目
13:30~13:45	諸注意・説明
13:45~14:30	1科目め
14:30~15:15	2科目め
15:15~16:00	3科目め
16:00~16:45	4科目め

- 1) 遅刻は1科目めの試験開始後20分以内ならば受験を認めます（試験時間の延長は認められません）。ただし、公共交通機関（高速バスは除く）

の遅延による遅刻で延着証明書を持参した方は、20分を超えても受験可とします(延着証明書を持参された場合は試験時間を延長いたしますが、4科目終了時間を超えての延長は認められません。また、大学に必ず連絡して下さい)。

- 2) 高速バスの場合は時間に充分余裕をもってご利用ください。高速バスの遅延に対する試験時間の延長などの配慮はできません。
- 3) 試験開始25分経過後、試験監督者が許可した場合は退室できます。ただし、再入室はできません。
- 4) 欠席や当日の遅刻の連絡は、すべて東北福祉大学通信教育部へお願いいたします。各会場への連絡はご遠慮ください。

試験会場

試験会場の予定は『試験・スクーリング情報ブック』でご案内しています。詳細は『With』でご連絡します。

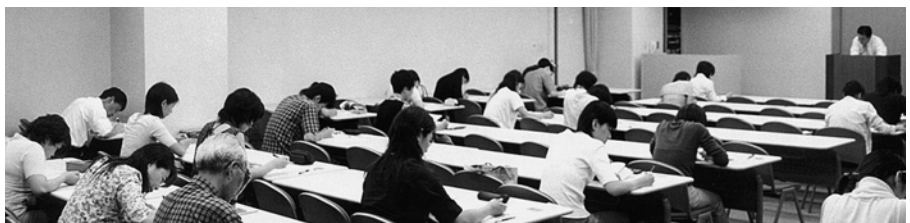
試験会場等の変更

申込締切日以降の受験希望都市・受験希望科目の変更はできません。受験都市については事情により仙台会場へ変更する場合のみ認められる場合があります。

まず電話連絡のうえ、書面(窓口・FAX・メール可)でのご連絡をお願いいたします。電話のみによる変更手続きはできません。

受験者へのおことわり

- (1) 科目修了試験の際に、通信教育部として行っている「教員免許状更新講習」(10年に一度現職教員が受講する講習)の「修了(履修)認定試験」を同時に実施させていただく会場があります。試験開始前のアナウンスが複雑になるなど、若干のご迷惑をおかけいたしますが、ご了承ください。
- (2) 会場の都合上、受験者数が多数の場合に1・2科目受験者の方の試験開始時間を変更(繰り下げ)させていただくことがございます。その際には個別にご連絡申し上げます。あらかじめご了承ください。



II 受験上の注意

1 事前準備

当日持参するもの

- 1) 学生証
- 2) 受験許可証
- 3) 筆記用具（ペン、修正液、鉛筆HBより濃いもの、消しゴム）
- 4) (函館・盛岡・新潟・長岡ほか) 上履き および靴を収納するビニール袋
- 5) 教科書（教科書持込許可科目：福祉社会学、福祉科の指導法ほか『With』で連絡します）

集合時刻

土曜日受験者 13時30分 各会場集合

日曜日受験者 9時45分 各会場集合

会場の都合等により、上記集合時刻以外のことがあります（申込案内に記載した『With』でご案内します）。

出題内容

出題内容は、教科書の全範囲からとなります。レポート学習と関連した内容が出題される科目もありますが、そうでない場合もあります。また、大半の科目は「論述式」による出題となります。

不合格になった場合は、次回以降の科目修了試験の申込みをして、受験することになります。受験した際の問題用紙（大半の科目の問題が掲載）は持ち帰りができます。何回か受験していれば、少しずつ出題傾向が見えてくると思いますので、不合格になった科目についても落胆することなく、学習を続けてください。

大学での学習は自ら苦勞してその学問の要点をつかんだり、自分なりの試行錯誤を繰り返すなかで身につけていく側面が大きいものです。大変な面はあると思いますが、試験にチャレンジしていきましょう。

2 試験実施方法

- 1) 1回の試験で4科目まで受験できます。

- 2) 1科目の試験解答時間は45分とします。45分ごとに1科目ずつ解答用紙を回収していきます。1日に1科目のみ受験する場合は10:45(土曜日は14:30)で終了、2科目受験する場合は11:30(土曜日は15:15)で終了、3科目受験する場合は12:15(土曜日は16:00)で終了、4科目受験する場合は13:00(土曜日は16:45)で終了となります。
- 3) 申込みをした科目については、どの順序で解答してもかまいません。解答しやすい科目から受験してください。棄権する場合は、その科目をあとにまわしてください。棄権答案の提出でその日の試験は終了です。

3 受験上の注意

- 1) 受験申込みをし、許可された科目のみ解答できます。
- 2) 学生証と受験許可証を持参し、常時机上に提示してください。
- 3) 1つの科目につき、1枚の解答用紙を使用してください。棄権する場合は、答案用紙に学籍番号、氏名、科目名など必要事項を記入のうえ、「棄権」と記入してください。
- 4) 答案は黒または青のペンもしくはボールペン、またはHB以上の濃さの鉛筆(シャープペンシル)を使用し、はっきりとした文字で記入してください(修正液の使用可)。
- 5) 問題用紙は1枚になっています。持ち帰りが可能です。
- 6) 試験の際の教科書の持ち込みは、特別の許可があった科目を除いて認められません。また、レポート、ノートなど教科書以外のものを持ち込むことはできません。
- 7) カンニング等不正行為があった場合は、当日の試験はすべて無効とし、規定に従って懲戒処分とします。
- 8) 受験にあたって、身体の障害などを理由に特別な配慮が必要な場合は、巻末の様式13(郵送・FAX)で届出をお願いいたします。事情を考慮のうえ、検討いたします。

4 科目修了試験時の学習相談

科目修了試験終了後、本学職員または試験監督者(主として本学OBで福祉専門職従事者や通信教育部卒業生)による個別相談形式の学習相談が受けられます。日頃自宅で学習を進めていくうえで生じた疑問点、履修や進級手続きにあたっての不明点などについて、お気軽にご相談ください。

くわしくは機関誌『With』などでご案内いたします。試験申込者以外の参加については、巻末の様式14を利用して郵送、FAXなどで事前の申込みをお願いいたします。

Ⅲ 試験結果の通知

1 試験結果の通知

- 1) 試験結果は、試験実施後1カ月以内に本人あて郵送で通知します。
- 2) 電話による問い合わせには応じられません。
- 3) 試験の成績は下記のとおりです。なお、試験の答案は返却しておりません。

成績	点数	可否	成績	点数	可否
優	100~80	合格	不可	59~ 0	不合格
良	79~70		棄権		
可	69~60		無効		

- 4) 残念ながら不合格であった場合は、次回以降の試験を再申込みしていただくことになります。
- 5) 12月—1月—2月など試験が毎月行われる場合、希望すれば前回の科目修了試験結果が出ないまま次回の科目修了試験を受験することも可能です。この場合、どちらか一方の試験で合格すればその合格の成績が有効となります。また、いずれも合格の場合は、始めに受験した試験の成績が有効となります。
- 6) スクーリング試験と科目修了試験を同時期に両方受験した場合、どちらか一方の試験で合格すればその合格の成績が有効となります。また、いずれも合格の場合は、最初に結果が出たほうの試験の成績が有効となります。
- 7) 結果について疑問のある方は、結果到着後1週間以内に、郵便または電子メールなど書面で通信教育部あてお問い合わせください。
- 8) 解答についての指導を受けることはできませんが、試験に不合格の理由が不明な場合は、自身の解答した内容を記載したうえでp. 120~121に定める「教員への質問」による方法で通信教育部までお問い合わせください（ただし在学中5回までといたします）。

2 その他

- 1) スクーリングを受講しスクーリング試験に合格した科目については、科目修了試験を受験する必要はありません。
- 2) 科目修了試験に合格しても、レポートが合格にならないと単位の修得はできません。
- 3) 科目修了試験に合格した科目でも、スクーリングを受講し、スクーリング試験に合格すれば、スクーリング単位が修得できます。ただし、成績評価は最初についた科目修了試験の成績が有効となります。